

笑顔あふれるコープしが基金

## 大丈夫をみつけよう

採択事業は、「自分はこれで良いんだと感じられる大丈夫食堂」です。核家族、ひとり親家庭での孤食など、日々の生活の中でも孤立や孤独を感じることが多くなってきています。子どもが少なくなってきている環境で異年齢交流（老若男女が集まる機会）も減ってきました。

この事業では、毎月1回、第3金曜日の15時～19時まで子ども対象の勉強会や遊び、季節に合わせた楽しいイベントを開催し、信楽地域の高齢者、障がい者、子育て世代、青少年など誰もが立ち寄れる居場所づくりを行っています。「大丈夫食堂」に来て誰かとつながり、「自分はこれで大丈夫」と感じられるような空間や仲間づくりをめざして活動しています。



びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金②

## 東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会

採択事業は、「100年の森づくりビジョン 東近江市・あらゆる場面で木を使うプロジェクト」です。

かつては、暮らしや生業の様々な場面で木材が使われてきました。しかし近年は、生活様式や価値観の変化によって地元産の木材は利用されなくなりました。そのため、森林の荒廃がすすみ、森林が本来持っている公益的機能は失われつつあります。

この事業では、東近江産の木材を使用した玩具や遊具による木育イベント「おいてく木育」「木育ミニパーク」を各地で実施し、子ども達をはじめ多くの人々が木に慣れ親しみ、森林や自然環境の大切さを学ぶ機会を提供しています。また、東近江市産の木材を使用した玩具や様々な木製品を製作・展示して木の良さを広くアピールすることで、地元産木材の利用を促進し

ています。

今年度は、木育玩具「るんだー」、そして「おいてく木育」「木育ミニパーク」普及事業が、「ウッドデザイン賞2021」のハートフルデザイン部門賞を受賞しました。これらの活動を通して、間伐などの森林整備の促進、森林の公益的機能の増進だけでなく、地域の未来を担う若者を育成することにより、地域社会全体の活性化および持続可能な社会の実現をめざしています。



【ホームページのQRコード】



# 未来ファンドおうみ通信

No. 27

2022年3月1日発行  
淡海ネットワークセンター

## 2021年度未来ファンドおうみ 助成事業 成果発表会を 開催します！！

淡海ネットワークセンターでは、「未来ファンドおうみ」助成事業を通じて、滋賀県内で地域の課題解決に取り組むNPOや市民活動団体を支援しています。

このたび、2021年度に助成を受けた18団体に事業の成果を発表いただきます。

記

- ◆日時：2022年5月14日(土) 13:00～16:00(予定)
- ◆会場：滋賀県立県民交流センター207会議室(ピアザ淡海2階)
- ◆助成先団体：おうみネット117号の最終ページにてご確認ください。

お問い合わせ 淡海ネットワークセンター(公益財団法人 淡海文化振興財団)

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20(ピアザ淡海2F)  
TEL:077-524-8440、FAX:077-524-8442  
E-mail:office@ohmi-net.com <https://www.ohmi-net.com/>



## 2021年度 助成団体の活動

### びわこ市民活動応援基金 A

#### 番場の歴史を知り明日を考える会

採択事業は、「近江古代史文庫創設事業」です。

近江は古代より交通の要衝として栄え、多くの歴史文化遺産が存在します。特に古代における湖北米原地域は、天皇家ともかかわりがあるといわれる息長氏の本拠地でもあり、交通の要衝として栄えてきました。

この事業では、古代史の第一級研究者である立命館大学名誉教授の故山尾幸久先生より寄贈いただいた蔵書約 2 万冊を旧



息郷小学校の一室を借り、文庫の開館にむけて整理をすすめています。また、定期的に古代史の講演会や研修会も開催しています。

この古代史文庫が、息長氏をはじめ古代史の舞台であるこの地の宝となり、古代史の研究・発信の拠点となることをめざして活動しています。



【ホームページのQRコード】



公演は、2022年3月12日・13日（予定）、甲賀市甲南町にある忍びの里プラザホールで開催します。お友達、ご家族の方もお誘いのうえ、ぜひぜひお越しください！！前売り券も絶賛発売中です。（前売券 1,000 円、当日券 1,500 円）また、YouTube でも静止画ムービーを配信していますので、こちらも公演前にチェックしてみてくださいね。

### ナカザワ NEO フレンドシップ基金

#### 愛荘町国際交流協会

採択事業は、「遊びはボーダーレス！『たのしい』で繋がる多文化共生プログラム」です。

現在、愛荘町は 1000 人ちかくの外国籍住民が暮らす、湖南省に次いで 2 番目に在住外国人の割合が高い町です。愛荘町国際交流協会では、外国籍住民と日本国籍住民がお互いに親しくなれるような交流の場づくりを行っています。



この事業では、外国籍児童と日本人児童のより深い交流を目的に、子どもたちが最終目標に向けて準備を進める長期参加型プログラムを実施しています。具体的には、日本人児童と外国籍児童をまじえたグループに分かれて大きなすごろく盤を制作しました。このすごろくは参加者がコマとなり会場全体が盤となる巨大なものです。子ども達が決めた「宇宙」と

いうテーマをもとに、星々に見立てたマスの目にいろいろな仕掛けを作りました。例えば、「にじ色の星」のマス目にとまると、ユニコーンのいる虹の上を歩かなければなりません。コマの参加者はいろいろな仕掛けのある星を巡っていきます。

プログラム開始当初、周りと馴染めず、何を作ればよいのかわからなかった子どもワークショップの回数を重ねるうちにみんなと打ち解け、ほかの子の協力ももらいながら自分のマス目を完成させました。すごろく大会当日は子ども達がホストとなり参加者を宇宙の旅へとアテンドします。

2022年3月に、愛知川町民センターにてこの大きなすごろく盤を使ってすごろく大会を開催する予定です。外国籍児童と日本人児童が交流を深め、協力して活動することでお互いを知り、相手を受け入れ共生する心を育てていくことを願い、活動しています。



【ホームページのQRコード】



### びわこ市民活動応援基金 A

#### 甲賀文化輝き

採択事業は、「『それいけ！輝き忍術学園』動画配信・ミュージカル事業」です。

「甲賀文化輝き」は、2000 年から活動をはじめ、「甲賀サブロー」や「サスケ」「五つの彩の輪」「すずか御前」「青い目の人形」など、甲賀市固有の歴史・文化を題材に、ほぼ毎年ミュージカルを公演してきました。地域の方々に甲賀の魅力をもっと知ってもらい、自分の住むまちを好きになってもらいたいと願い、活動を続けています。

今年度のミュージカル公演は、「それいけ！輝き忍術学園」。忍術について学ぶ 6 年制の忍術学園を舞台にしたコメディ作品で、生徒たちは忍者や甲賀市について学び、困難を乗り越え成長していきます。キャストは甲賀市内外の一般市民から募集し、皆で稽古を重ねてきました。



【ホームページのQRコード】

